

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2178 号

がん終末期患者を対象とする褥瘡発生予測因子の探索

Predictors of the development of pressure sores in the end-stage of cancer patients

桑村 淳子 (くわむら じゅんこ)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文は、がん終末期患者の褥瘡発生予測因子を初めて明らかにした臨床的に意義ある論文である。

がん終末期には身体機能の低下や栄養状態の悪化がみられるが、褥瘡発生要因と重複するため、褥瘡の発生予測が難しい。日本の病院で使用されることの多い褥瘡リスクアセスメントスケールのブレデンスケールにも身体機能や栄養状態を評価する項目があるため、がん終末期に有用かどうかを検証するとともに、さらに精確な褥瘡発生予測を可能にする他の客観的指標を探索した。客観的指標として日常生活動作の指標である Barthel Index の各項目と血液データを使用し、褥瘡発生あるいは死亡 20 日前、15 日前、10 日前、5 日前、当日と調査日間(5 日間)の変化を比較した。その結果ブレデンスケールや Barthel Index では有意な差がみられなかったが、血液データの褥瘡発生 15～10 日前 (5 日間) の赤血球数、ヘモグロビン濃度、およびヘマトクリット値の増加量には有意な差がみられ、これらを新たな指標とできることが示唆された。以上の結果はがん終末期の褥瘡発生を予見することによってその発生を防ぎ、患者の QOL 向上を図る道を拓く可能性が高い。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。